中小企業あきた

1 日本銀行秋田支店の吉濱支店長と意見交換を行う …… 1
2 (公財)産業雇用安定センター太田理事長より感謝状を授与 …… 2
3 大館市で秋田県総合防災訓練が開催 …… 2
～地域の組合が共同参加～
4 上野台堆肥生産協同組合が国土交通大臣賞を受賞！ …… 3

○中小企業組合等支援施策情報 …… 3
○景況レポート８月分 …… 4
○組合相談コーナー …… 6
○話題の広場
中央会事業より …… 6
支援団体活動レポート …… 9
インフォメーション …… 10
中央会職員コラム …… 10

10
OCTOBER.2017

TOPICS 1 日本銀行秋田支店の吉濱支店長と意見交換を行う

［懇談の様子（中央：藤澤会長／右奥：吉濱支店長）］

8月29日（火）、日本銀行秋田支店の吉濱久悦支店長が来所し、本会から県内中小企業の経営状況等について説明した後、藤澤会長ならびに伊藤専務理事と懇談を行いました。

■県内中小企業の経営状況

県内中小企業の売上・収益動向は二極化している。中小・小規模企業が回復するためには、市場の動向を見極めて、得意分野を活かした企業連携による販路拡大等が必要である。

■県内中小企業の生産性向上と課題について

ものづくり補助金による設備投資で生産性向上や新商品・サービスの事業化が着々と成果を上げている企業が多いものの、約1/4の企業が事業化できていないことが課題として挙げられる。こうした企業に対するフォローアップ支援を行うことで事業化の推進、課題解決を図る必要がある。

■県内中小企業の雇用・賃金動向

有効求人倍率が1.37倍となるなど売り手市場のなか、建設業や介護事業者等で計画通りに雇用できない状況にある。中小・小規模事業者にとって雇用するために賃金を上げたいが、新入社員のみを上げることは社員間の賃金バランスが崩れるため、難しい状況にある。組合が高校へ訪問し、業界の説明を行う等の活動を継続しながら、人材の確保を進めるとともに経営改善を図りながら、売上・収益の改善を図ることが重要である。

懇談では、吉濱支店長から「人口減少により、働き手不足、県内市場が縮小するなか、中小企業においても経営効率化や積極的に県外需要を獲得していく必要がある。そのためには、企業間連携などを通じて、労働生産性を向上させて地域全体の競争力を高めていくことが重要である。」といった発言があり、藤澤会長は、「中小・小規模企業は、何処の市場で売上を確保するかで二極化している。県外・海外を主な市場とする企業は、景気が回復しているものの、県内を主な市場とする企業は、少子高齢化に伴う市場縮小により景気は厳しい状況にある。」との見解を示しました。

日本銀行秋田支店とは今後も意見交換の場を設けることにより、県内中小企業の動向認識を共有していくこととしています。